

平成 31 年度事業報告

平成 31 年度は、「第 3 次中期計画」（平成 31 年度～令和 3 年度）にもとづき事業を実施しました。

中期計画の数値目標である「会員数 1,400 名」については、女性会員は増加したものの 1,292 名で目標には届きませんでした。

もうひとつの数値目標である「契約金額 5 億 8,800 万円」については、派遣事業を推進した結果、5 億 5,267 万 3,078 円と目標契約金額の 93.9%に達しました。

契約金額の内訳をみると、請負契約では公共からの受注が増えたものの、適正就業推進に伴う派遣への移行や消費税増税による景気の冷え込み、年明けからの新型コロナウイルス渦の影響等を受け前年度を下回る契約金額となりました。

一方、派遣事業は前年度比 232.6%と大幅に契約金額を伸ばしました。

数値目標を実現するための「会員主体の組織運営推進」についても、地域班活動、ポイント制度の活用、職能グループ活動などを通じて、取り組みました。

以下、事業計画の項目に沿って実績を報告します。

事業実施状況

1 会員の拡充と質的向上

目標会員数 1,400名

新規に 206 名が入会する一方 227 名が退会したので、年度末の会員数は 1,292 名となり前年度より 21 名減少し目標の 1,400 名には達しませんでした。

(1) 広報委員会が作成したチラシを、市役所本庁舎や行政センターに配架させていただいたり、市内一般家庭に会員が自主的に配布したことで、新規会員の加入増加につながりました。

- (2) 地域班を通じ会員による会員勧誘活動が行われ、23 名の新規会員が入会しました。
- (3) 広報委員会編集による広報紙を年 3 回発行し、会員に対する連絡事項掲載、会員の投稿掲載、センター行事の報告等の情報提供を行いました。
- (4) 市内を運行する京急バス 30 台分の車内広告掲出、市内配布のフリーペーパー 2 誌へ計 10 回の広告出稿を行いました。
- (5) 女性限定入会説明会の実施など、女性会員の拡大に取り組み昨年より女性会員が 16 名増加しました。
- (6) センターの PR を目的に、「ふれあいフェスティバル」「ジャカラランダフェスティバル」「ひくてあまたプロジェクト（生涯現役フォーラム）」「いきいき市民塾」「按針フェスタ」「シニア就職面接会」へ参加し、新規会員の加入増加や就業先の拡大につながりました。
- (7) 「第 3 回演芸フェスティバル」を横須賀・三浦作業所連絡会の協力で開催し、222 名の来場者にセンターの活動や地域貢献を PR しました。
- (8) 入会説明会を 11 回開催し新入会員の増加を促進しました。
- (9) 会員の知識・技術の向上を目的に、「植木剪定（雑木類 1 回・クロマツ 2 回）」「除草講習（1 回）」「刈払機安全取扱」「ハウスクリーニング」「ライフサポート研修（3 回）」「男の料理教室（1 回）」「普通救命」をテーマとした研修・講習会を開催し、計 224 名の会員が受講しました。
- (10) 新入会員を対象に「入会研修会」を実施し、就業時の接遇等について研修を行いました。
- (11) 会員対象の福利厚生サービスとしてポイント制度および会員の表彰を実施しました。
- (12) 女性会員の親睦を深める「女性会員のお茶会（毎月）」を実施し、「クリスマス会」の開催や「着付同好会」「手づくりの会」など女性会員の活動が広がりました。また女性の就業について考える「女性会員お仕事プロジェクト」では新たな事業の立ち上げを進めました。

2 契約金額の拡大

目標契約金額 5億8,800万円

前年度に比べ請負事業は減ったものの派遣事業は増加し、5億5,267万3,078円と目標契約金額の93.9%に達しました。また、就業率は72.5%となりました。

- (1) 派遣事業について新たに11事業所からの受注を開拓し、就業実績の増加につながりました。また就業会員数が129名増加しました。
- (2) 従来からの請負就業について、就業開拓委員会を中心に、会員・役員・職員が新たな就業先の開拓を実施しました。
- (3) 前記の広報活動、イベント出展等により就業実績拡大をめざしました。
- (4) 新たな就業先の開拓に向け、就業開拓委員会により幼稚園や介護施設等へのシルバー人材センターの周知に努めました。
- (5) 横須賀市が設置した「社会福祉審議会」「よこすか地域支え合い協議会」にの構成員として、総合事業への取組みについて意見交換しました。

3 会員主体の組織の活性化と機能強化

- (1) 第3次中期計画に基づき、会員を中心に構成される8委員会が課題に取り組みました。また全委員が参加する「委員会大会」を開催し、各委員会が中期計画の進捗状況を発表し委員間の情報を共有しました。
- (2) 職能グループ活動の推進に取り組み、剪定・除草グループは23グループ155名、ハウスクリーニンググループは19名、お片づけグループは14名の会員が就業しました。新たにお墓清掃グループを立ち上げ10名の会員が就業しました。
- (3) 各地域班では、会員が自主的に会員勧誘や就業機会の拡大に取り組みました。また、親睦活動やボランティア活動にも取り組みました。
- (4) 班長会が中心となり横須賀・三浦作業所連絡会の協力を得て「第3回演芸フェスティバル」を開催しました。18組47名が出演し、222名が来場しセンターのPRと会員間の親睦を深めるイベントとなりました。

4 会員の安全就業の推進と健康の維持向上

- (1) 7月・8月に地域安全対策推進員巡回パトロールを7日間実施し、63カ所を巡回しました。
- (2) 会員に対する健康診断の奨励として費用の一部を補助し、19名の会員が受診しました。
- (3) 安全標語の募集を行い、40名の会員から102点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選考し、広報紙に掲載するとともに、事務所に掲示しました。
- (4) 安全パトロール員による巡回パトロールを実施し、5月から12月の期間に310か所の就業場所をパトロールした結果、ヘルメット装着率は96.9%となりました。
- (5) 「安全就業基準」を新入会員に配付しました。
- (6) 安全就業促進のためヘルメットの購入補助を行いました。
- (7) 高齢者の交通安全講演会および講演会後の会員による事故体験報告を予定していましたが中止となりました。

5 地域への貢献

- (1) 活力、生きがい増進の促進として市内高齢者を対象としたゲートボール大会の開催に協賛しました。
- (2) 地域班活動として、清掃活動、通学路の安全パトロール、資源物の収集等のボランティア活動を行ったほか、日帰りバス旅行などの親睦活動を行いました。また、共同募金運動の街頭募金に協力しました。
- (3) 第3回演芸フェスティバルを開催し、多くの市民に会場いただいたほか、横須賀・三浦作業所連絡会による出演および会場内での販売を行いました。